

2022 年 6 月 9 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【ゼネコン】他社牽制力ランキング 2021

トップ 3 は清水建設、大林組、大成建設

弊社はこのほど「ゼネコン業界」の特許を対象に、2021 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「ゼネコン業界 他社牽制力ランキング 2021」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2021 年に最も引用された企業は、1 位 **清水建設**、2 位 **大林組**、3 位 **大成建設**となりました。

【ゼネコン業界 他社牽制力ランキング 2021 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	清水建設	447
2位	大林組	344
3位	大成建設	340
4位	鹿島建設	328
5位	竹中工務店	297
6位	フジタ	129
7位	熊谷組	103
8位	前田建設工業	98
9位	戸田建設	79
10位	安藤ハザマ	73

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2021 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2021 年 1 月から 12 月までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2022 年 4 月 15 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1 位 **清水建設**の最も引用された特許は「予め設定した場所とは違う場所で建物検査を行う際の検査支援装置」に関する技術で、鹿島建設や高砂熱学工業などの計 4 件の審査過程で引用されています。このほか「A R マーカを用いずに撮像画像と仮想画像を合成し、正確な竣工イメージを表示する合成画像表示システム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、大林組などの計 3 件の拒絶理由として引用されています。

2021 年に、清水建設の特許による影響を受けた件数が最も多い企業は竹中工務店（45 件）、次いで大成建設（23 件）、鹿島建設（20 件）となっています。

2 位 **大林組**の最も引用された特許は「梁端接合部の構造耐力を向上できる H 形鋼製梁の梁端接合部構造」に関する技術で、竹中工務店などの計 3 件の審査過程で引用されています。このほか「トンネル支保材の連結構造」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、前田建設工業の計 3 件の拒絶理由として引用されています。

2021 年に、大林組の特許による影響を受けた件数が最も多い企業は竹中工務店（39 件）、鹿島建設、清水建設（いずれも 23 件）です。

3 位 **大成建設**の最も引用された特許は「空間の温度などの環境物理要素の 3 次元空間分布をリアルタイムで把握できる空調環境モニタリングシステム」に関する技術で、三菱電機の計 4 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2021 年に、大成建設の特許による影響を受けた件数が最も多い企業は竹中工務店（48 件）、次いで鹿島建設（29 件）、清水建設（21 件）となっています。

4 位 **鹿島建設**は「異なる作業を行う複数の建設機械を自動運転で作業させることができる建設機械の施工方法」、5 位 **竹中工務店**は「トンネルなどのコンクリートの健全性を、走行しながら非接触で検知し、その剥落危険度を総合的に判断するコンクリート欠陥検査装置」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【ゼネコン業界 他社牽制力ランキング 2021 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 30 社：本業界の被引用件数上位 30 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL：03-5802-6580 FAX：03-5802-8271 HP：<https://www.patentresult.co.jp/>